

ハーブと 野菜を 植える

ハーブは育てるのが非常にカンタン。にもかかわらず利用価値は大。オシャレな印象があるハーブですが、実用的にもいろいろ使えるんです。ここではまず、「植える」部分を紹介していきます。

1 月桂樹とハーブとは？

大きなテラコッタ鉢の中央に月桂樹(げっけいじゆ)を植え、まわりにキッチンハーブを植え込みました。

2 月桂樹とハーブの育て方



1. 普通のプランター以外に、深めのプランターやボールプランター等を用意しました。そして主役の苗達です。



2. まず、深めのプランターを使います。ゴロ土として赤玉土を3~5cm位入れ、次に培養土を入れます。元肥は今回は特に入れません。



3. 今回のポイント、月桂樹。この葉は料理の香味スパイスとして有名ですね。ローリエともいいます。



4. それぞれの苗の配置を決めます。決まったら培養土を足して植えていきます。



5. プランターの中で土の空間ができていないか、すき間なく土を入れます。大きな鉢はトントンと持ち上げることができないので、棒を使って空間を埋めます。できた空間の分だけ土を足します。



6. 最後に水やりをします。これで土を落ち着かせます。ここではホースで水を掛けていますが、できれば「はす口」を使って上から均等に水やりをしましょう。



7. できあがり！でもここからが本番です。大切に育ててください。



3 千成ひょうたんとは？

大きなテラコッタ鉢の中央に、月桂樹（げっけいじゅ）を植え、まわりにキッチンハーブを植え込みました。

MEMO

千成ひょうたん

ウリ科のつる性一年草。原産は東南アジア説、アフリカ説などあり詳細は不明。実は苦くて食用には向きませんが、皮が硬くなるので器には利用されます。夏に白い花が咲きます。秀吉の旗印としても有名。

4 千成ひょうたんの育て方



1. 今回は“つる性植物”ということで、千成ひょうたんを育ててみます。



2. あんどん仕立てを作ります。ホームセンターで販売している芽竹を使います。固定にはシュロ縄を使います。園芸用品売場で扱ってます。



3. 芽竹をノコギリでカットして四角く組んでいきます。結び方はいろいろありますが、四角形の形が崩れないように注意しましょう。



4. シュロ縄だけではすれ落ちてしまうようなので、アルミ線を使ってしっかり固定しました。今回は「手作り」にこだわりましたが、売っている支柱を使っても構いません。



5 ハーブコンテナ

手作りっぽいコンテナの中に、ハーブをたくさん植え込みましょう。ミント系はよく根が張るので、麻布でまわりと仕切りをしています。

6 ハーブコンテナの育て方



1. まずはガーデニング用水性塗料で色づけをします。カントリーな雰囲気を出すために、きれいなインディゴブルーに仕上げました。



2. 板のすき間から土がこぼれないように麻布を内側全体に敷きます。さらにガンタッカーで固定。麻布が手に入らないようであれば、鉢底ネットでも構いません。



3. 苗の配置を決めます。ブラックベリーはハーブの根に負けないよう紙ポットに植えます。ミントは根がどんどん広がるので、それを考慮しておきましょう。



4. 実際に土を入れていきます。これは紙ポットに植えるブラックベリー。



5. ミントの根が侵食しないように麻布で仕切りを作ります。



6. これで完成！ハーブティーも出来るし料理にも使えますね。ブラックベリーでお菓子を作ったり、楽しみなコンテナです。

7 植えてからが本番

ハーブも野菜も植えてからが本番です。大切に育てて、収穫期を待ちましょう。手作りの味をお楽しみ下さい！

